

うちの学校紹介しまあ!

その20 多賀小学校



多賀小学校は日本遺産に指定されている「伊弉諾神宮」に隣接した場所にあります。

緑豊かな環境で学校の周辺は田畑が多く、ふるさとセンターや淡路文化会館などの文化施設もあります。全校生は50名で、休み時間にはいろいろな学年の子が学年を超えて一緒に遊ぶ姿が見られます。人権関連の取組をいくつかご紹介します。

一、『多賀夏祭り』(7月)
毎年夏休みの初めに、PTAが中心となって行う行事で、地域の子どもたち・保護者・高齢者(祖父母)3世代が参加します。今年度も



多賀夏祭り

約170人の参加がありました。スポーツクラブ21の皆さんの指導でグラウンドゴルフをしたり、体育館でバローンアートや風船バレー、ゲームを行ったりしました。行事の最後をしめくくる「夜の校舎ミステリースクール(きもだめし)」では、役員の方の怖すぎる演出で大変盛り上がりました。

二、『いざなぎ学園交流会』(6月)

淡路文化会館会で開講されているいざなぎ学園に参加されている高齢者の方々と1、2年生が昔の遊びで交流します。今年度は約30名の高齢者の方にご参加いただき、竹トンボづくり、紙飛行機、囲碁ボールで楽しいひとときを過ごしました。



福祉教室

三、『福祉教室』(10月)
社会福祉協議会のご協力により、3、4年生が車いす体験とアイマスク体験を行いました。今年も学校内外のいくつかの場所で、階段や段差のある場所では、視覚障がいや肢体不自由の人がどのような不便さを感じているのかを体験して、バリアフリーの環境づくりや自分たちができることについて考える機会としました。

以上述べてきたように、地域や保護者各種団体と連携しながら、さまざまな学習ができる環境を生かして今後子どもたちの人権意識を高め、人権の輪が広がるような学校をめざしていきたいと思えます。

支部活動 津名支部活動

淡路市人権教育研究協議会津名支部では、昨年9月に保育園(所)・認定こども園部会の研修会を、今年の1月に3支部合同(津名・東浦・岩屋)のじんけん講演会を行いました。

今年度の保育園(所)・認定こども園部会の研修会では、(二財)児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長 島田妙子さんを迎え「子どもたちの笑顔を守るために私たちにできること」と題して、ご自身の体験やアンガーマネジメント(怒りのコントロール)の方法などのお話をいただき、日々の子どもたちにかかわっておられる保育園の先生方に講演いただきました。

また、今年度は3支部合同でじんけん講演会を実施、100名近くの方に参加いただき、落語家の露の眞さんをお招きし、「女らしく男らしくでなく、自分らしく」と題してお話いただきました。性別による男女区別ではなく、特徴の一つでしかなくよく昔から言われている男とはこうあるべき、女とはこうあるべきといった世間の性別での考え方への自分らしさを

を露の眞さんの身の回りでのちよっとした面白い話や落語界の話を、テンポ良く話していただき、会場を笑いであふれさせてくださいました。

講演会後の落語やどじょうすくい踊りでは、くわしい説明も交えながら、知らず知らずのうちに会場全体を落語の笑いの渦でいっぱいにしていただきました。どじょうすくい踊りは、2年前に師範資格を取得され、全国大会での優勝経験もお持ちとのことで、独特の表情やひょうきんな踊りは見ているだけで楽しく、あつという間に時間が過ぎていきました。

今後もさまざまな人権問題について、楽しく学んでいただけるような講演会などを行っていききたいと思いますので、ぜひご参加ください。



軽快な語り口の露の眞さん